

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

多様な進路希望をもつ生徒に対応できる教育課程を編成し、「未来探しの旅の出発点」として、**希望進路の実現**に取り組む。そのための基礎として、コミュニケーション能力を高め、互いに学び合い高め合う関係づくりの中で**自己肯定感を育む**教育を行う。また、地域から信頼され必要とされる「地域に根ざした身近な府立高校」となるため、地域との連携を図りながら、地域のリーダーを育てる学校づくりを行う。

- 1 自らの将来について考え、社会で生き抜く力を獲得し、希望進路の実現に向かって努力する態度を育む
- 2 自分の個性を大切にするとともに、他人に対して思いやりの心を持ち、それぞれの立場を理解して行動できる心を育む
- 3 学級活動、学校行事、部活動、地域交流活動などに積極的に参加し、常に自分を高める気持ちを育む
- 4 地域及び保護者との連携を密にし、地域や社会に貢献できる人材を育成する
- 5 組織力を高め、教員および生徒が個人の能力を伸ばすことのできる環境をつくる

2 中期的目標

- 1 自己肯定感を高める。
 - (1) 授業改善を積極的に推進し、生徒の基礎学力を向上することにより、達成感を高める。
 - ア 学校生活の基本となる**授業規律を確立**することにより、学力保障の基礎とする。
 - イ 授業研究についての取組みを積極的に展開し、教員の授業力の向上を図る。また、生徒の基礎学力の充実を図るとともに、社会において必要とされる力について認識し、自ら学ぶ意欲を育てるため、「分かる授業」・「楽しい授業」を実現する。
 - ウ タブレット端末や大判プリンターなどを活用し、生徒が主体的に学習できるように、学習環境の充実を図るとともに、自己実現に向けて、主体的に取り組むことのできるよう、授業改善に取り組む。
 - エ 実験や実習などを行ったり、発表の機会を設けるなど、生徒が体験から学ぶ機会を多く取り入れることにより、主体的に学ぶ姿勢や探究心を育む。
 - オ 基礎学力診断テスト、学習支援クラウドサービス、朝学習などを連携し、生徒の学力向上に結び付けるように計画する。
 - (2) 生徒の規範意識を高め、社会人として活躍できる人材を育成する。
 - ア 通学時の安全確保のため、正門や通学路等で交通安全指導を行う。
 - イ 服装、頭髪などの指導とともに、時間を守ることなどの、規範意識を高め、社会の一員として活躍できる人材の素養を身に付けさせる。
 - ウ 校内美化について計画的な指導を行う。美化意識を高めるために定期的に美化運動を行う。
- 2 多様な進路希望をもつ生徒の希望進路を実現する。
 - (1) 将来を見据えた進路実現に向けて、生徒の興味・関心、進路希望等に応じたカリキュラムマネジメントを行う。
 - ア コース選択の多様性を確保し、多様な進路希望に対応できる体制を構築する。
 - イ 社会の一員としての資質の向上を図るため、主権者教育、情報リテラシー、薬物乱用防止などの課題について学習する。
 - ウ 生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じた進路選択ができるよう、**SC**や**SSW**などと連携を深め「チーム学校」としてきめ細かい指導を行っていく。
 - (2) 進路指導計画を整理・拡充し計画的な進路指導を実現する。
 - ア 計画的な進路指導を行い、**進学・就職ともに生徒の希望の実現**をめざす。
 - イ 資格試験などに積極的に取り組む中で、社会において必要とされる力を認識するとともに自ら獲得できる生徒を育む。
※ 就職希望者の決定率 **100%**をめざす。(H29 90% H30 95.1% R1 92.7%)
- 3 安全で安心な魅力ある学校づくり
 - (1) 地域貢献を行うことによる、社会の一員としての意識を高める
 - ア 地域とのつながりを大切にし、帰属している意識をもつことにより、郷土を愛する精神を養い、社会に貢献できる将来のリーダーの育成をめざす。
 - イ 地域の青少年健全育成会などの団体との連携を密なものとし、フェスティバル等やボランティア活動などの社会貢献を通して、社会の一員としての自覚を養う。また、楽習室に生徒がアシスタントとして参加することにより、主体的な学びの場として活用する。
 - (2) 保護者との連携による信頼関係の構築
 - ア 保護者とのコミュニケーションを大切に、連携をより密にし、将来への目標を持つことにより、基本的な生活習慣を確立する。
 - イ 就学支援委員会を中心に、合理的配慮への理解を進め、個別の教育支援計画の作成や適切な評価がなされるように、教育環境を整える。
 - ウ 教育相談体制を充実させ、個々の生徒及び家庭環境に対して、寄り添った指導を心がける。
 - エ 地域の中学校との連携を密にし、生徒の生活環境を理解することにより、将来にわたって社会で生き抜く力を養う。
 - (3) 学校情報の発信を強化することで、学校の信頼を高め、必要とされている学校という自信を生徒に持たせる。
 - ア 身近な生活の中で生起する**人権課題**（いじめや**SNS**等）に対して人権意識の高揚を図る。
 - イ 教育支援クラウドサービスの活用により、様々な情報を提供し、双方向性での情報共有を図る。
 - ウ 楽習室(小中学生対象)の充実をはかり、開かれた学校づくりに努める。
- 4 学校運営体制の強化と効率化、危機管理能力の向上
 - (1) 学校運営体制の強化と効率化をめざす
 - ア 学校運営のスローガンとして「一体感」を掲げ、全教員で学校経営をして行こうという意識を持ち、相互理解を進めることで、情報共有の効率化と迅速な意思決定を図る。
 - イ 分掌・委員会の連携を進め、全ての教員が学校の課題を共有して解決にあたる。
 - ウ 情報処理委員会の機能をより充実させ、**ICT**機器の管理を含めた、校務の効率化と適切な情報共有を行う。
 - (2) 組織目標の明確化と課題解決に向けての取組み
 - ア 現状分析と目標設定を基本とした、課題の明確化と具体的な対応策の構築を行う意識の浸透を図る。
 - イ 教員の特性を理解し、各分野での役割を明確にし、個々の能力を発揮できる環境を整えることで組織力の向上をめざす。
 - ウ 経験年数の少ない教員に対して研修の機会を増やし、積極的に発表や情報・意見交換をすることにより、次代のリーダーとなる資質を育成する。
 - エ **PTA**・同窓会と共同し、今年度末での閉校を見据えた学校経営を行う。
 - (3) 危機管理体制の充実と防災教育の再構築
 - ア 学級診断尺度調査 (**Q-U**) **SSW**なども活用し、いじめ等の未然防止、早期発見、対策について情報を共有し、機能しているか体制を常に点検するなど、生徒の困り感を解消し、**適切な支援**を行う。
 - イ 個人情報の管理をはじめ、多様なインシデントに関して共有し、個々の危機管理能力を高めるとともに組織としての重大事故を未然に防止する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年12月実施分]				学校運営協議会からの意見																																																																																			
(1)保護者				◎第1回学校運営協議会【令和2年7月17日】																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>質問</th> <th>質問内容</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>学校の生徒指導の方針に共感できる</td><td>0.76</td><td>1.00</td><td>1.23</td></tr> <tr><td>2</td><td>学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った生徒を育てようとしている</td><td>0.60</td><td>1.00</td><td>1.05</td></tr> <tr><td>3</td><td>学校は、教育情報について、提供の努力をしている</td><td>0.76</td><td>0.81</td><td>0.83</td></tr> <tr><td>4</td><td>学校では、PTA活動は活発である</td><td>0.32</td><td>0.43</td><td>0.50</td></tr> <tr><td>5</td><td>学校は、保護者の願いにこたえている</td><td>0.43</td><td>0.65</td><td>0.88</td></tr> <tr><td>6</td><td>学校は、保護者の相談に適切に対応してくれる</td><td>0.81</td><td>1.05</td><td>1.14</td></tr> <tr><td>7</td><td>文化祭・体育祭・宿泊行事などの学校行事に、子どもは積極的に参加している</td><td>1.12</td><td>1.33</td><td>1.07</td></tr> <tr><td>8</td><td>学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きと楽しんでいる</td><td>0.41</td><td>0.92</td><td>0.81</td></tr> <tr><td>9</td><td>この学校の前活動・生徒会活動は活発であると思われる</td><td>-0.33</td><td>-0.24</td><td>-0.30</td></tr> <tr><td>10</td><td>学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている</td><td>0.66</td><td>1.02</td><td>1.18</td></tr> <tr><td>11</td><td>学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば適切に対応してくれる</td><td>0.37</td><td>0.89</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>12</td><td>学校は、子どもが安全で安心することや社会の一員を守る意識を養っている</td><td>0.45</td><td>0.87</td><td>0.88</td></tr> <tr><td>13</td><td>この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある</td><td>-0.28</td><td>-0.05</td><td>0.28</td></tr> <tr><td>14</td><td>子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている</td><td>0.92</td><td>0.97</td><td>0.70</td></tr> <tr><td>15</td><td>子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている</td><td>-0.08</td><td>0.46</td><td>0.65</td></tr> </tbody> </table>				質問	質問内容	H30	R1	R2	1	学校の生徒指導の方針に共感できる	0.76	1.00	1.23	2	学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った生徒を育てようとしている	0.60	1.00	1.05	3	学校は、教育情報について、提供の努力をしている	0.76	0.81	0.83	4	学校では、PTA活動は活発である	0.32	0.43	0.50	5	学校は、保護者の願いにこたえている	0.43	0.65	0.88	6	学校は、保護者の相談に適切に対応してくれる	0.81	1.05	1.14	7	文化祭・体育祭・宿泊行事などの学校行事に、子どもは積極的に参加している	1.12	1.33	1.07	8	学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きと楽しんでいる	0.41	0.92	0.81	9	この学校の前活動・生徒会活動は活発であると思われる	-0.33	-0.24	-0.30	10	学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている	0.66	1.02	1.18	11	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば適切に対応してくれる	0.37	0.89	1.00	12	学校は、子どもが安全で安心することや社会の一員を守る意識を養っている	0.45	0.87	0.88	13	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある	-0.28	-0.05	0.28	14	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている	0.92	0.97	0.70	15	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている	-0.08	0.46	0.65	<p>◎第1回学校運営協議会【令和2年7月17日】</p> <p>※新型コロナウイルス感染予防のため、郵送により意見等を聴取することで、会議の開催に代えた。</p> <p>【委員からの意見等】</p> <p>○昨年度の学校運営協議会の意見をしっかりと踏まえて策定していただき感謝している。</p> <p>○今般のコロナ禍で、特に「学校は安全で安心な場所であること」が求められている。ついては、長野北高校の最大の強みである「教育相談体制の充実」を引き続きお願いをしたい。</p> <p>○最終年度を迎え、厳しい教育条件の中で、先生方が本当に頑張っていることが、学校教育自己診断のアンケート結果に数多く反映されていると感じた。それでもなお、最後の卒業生を自信を持って送り出すため、高い目標を掲げて努力を続けられる姿勢が学校経営計画に表れていて、卒業生を託した中学校として、安心と信頼、そして感謝の気持ちを持っている。</p> <p>○生徒を最後まで支えて頂き感謝する。自己肯定感育む教育は、進学就職に関わらず必要なこと。希望外の進路になっても、自分の力で成長出来る事が多々有ると思う。挫折から成功に向け自己研鑽の出来る生徒指導もよろしく願いたい。</p> <p>○最後の1年としてふさわしい計画であると考えている。特に地域との連携については積極的にお願いしたい。</p> <p>○今年度からの「長北ポイント」の導入など、常に新しいアイデアが出され、すべては、「生徒ファースト」の視点からの発想で行動に移されているのがよい。</p> <p>○最終年度を迎えても、業務改善の手を止めないことや、生徒の充実した日々の実現に向けた方針が、報告の中から見て取ることができた。特に学年目標に掲げられた「愛される人になる」という言葉は、自己の人間成長を他者との関係でとらえ、生徒を中心とした信頼にもとづく人間関係をつくり上げるという意味で、素敵だと思った。</p>			
質問	質問内容	H30	R1	R2																																																																																			
1	学校の生徒指導の方針に共感できる	0.76	1.00	1.23																																																																																			
2	学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った生徒を育てようとしている	0.60	1.00	1.05																																																																																			
3	学校は、教育情報について、提供の努力をしている	0.76	0.81	0.83																																																																																			
4	学校では、PTA活動は活発である	0.32	0.43	0.50																																																																																			
5	学校は、保護者の願いにこたえている	0.43	0.65	0.88																																																																																			
6	学校は、保護者の相談に適切に対応してくれる	0.81	1.05	1.14																																																																																			
7	文化祭・体育祭・宿泊行事などの学校行事に、子どもは積極的に参加している	1.12	1.33	1.07																																																																																			
8	学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きと楽しんでいる	0.41	0.92	0.81																																																																																			
9	この学校の前活動・生徒会活動は活発であると思われる	-0.33	-0.24	-0.30																																																																																			
10	学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている	0.66	1.02	1.18																																																																																			
11	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば適切に対応してくれる	0.37	0.89	1.00																																																																																			
12	学校は、子どもが安全で安心することや社会の一員を守る意識を養っている	0.45	0.87	0.88																																																																																			
13	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある	-0.28	-0.05	0.28																																																																																			
14	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている	0.92	0.97	0.70																																																																																			
15	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている	-0.08	0.46	0.65																																																																																			
(2)教職員				◎第2回学校運営協議会【令和2年10月21日】																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>質問</th> <th>質問内容</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いにこたえている</td><td>1.30</td><td>1.51</td><td>1.87</td></tr> <tr><td>2</td><td>生徒による自発的行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている</td><td>1.11</td><td>1.23</td><td>1.38</td></tr> <tr><td>3</td><td>この学校では、生徒指導において、家庭との連携ができています</td><td>1.28</td><td>1.43</td><td>1.76</td></tr> <tr><td>4</td><td>生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている</td><td>1.23</td><td>1.11</td><td>1.52</td></tr> <tr><td>5</td><td>ホームルーム活動を通して学校経営の発展に、学年や学年、学校全体で取り組んでいる</td><td>0.67</td><td>1.00</td><td>0.76</td></tr> <tr><td>6</td><td>学校行事が生徒にとって魅力のあるものとなるよう、工夫・改善を行っている</td><td>0.76</td><td>1.26</td><td>1.57</td></tr> <tr><td>7</td><td>担任や先生以外の先生も授業や研修などで、積極的に参加している</td><td>1.22</td><td>1.23</td><td>1.48</td></tr> <tr><td>8</td><td>教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている</td><td>0.15</td><td>0.86</td><td>1.10</td></tr> <tr><td>9</td><td>教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている</td><td>0.76</td><td>1.00</td><td>1.29</td></tr> <tr><td>10</td><td>校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている</td><td>0.76</td><td>1.00</td><td>1.62</td></tr> <tr><td>11</td><td>教育相談体制が整備されており、生徒は適切な指導を受けられることができる</td><td>1.11</td><td>1.17</td><td>0.86</td></tr> <tr><td>12</td><td>教育活動に必要な情報について、生徒や保護者への周知に努めている</td><td>1.20</td><td>1.34</td><td>1.62</td></tr> <tr><td>13</td><td>学校行事や授業の改善について、委員会などの活動を通して生徒の意見を取り入れることができる</td><td>1.11</td><td>0.86</td><td>1.19</td></tr> <tr><td>14</td><td>いじめ防止の観点から、適切な体制が整っており、迅速に対応することができる</td><td>0.41</td><td>1.34</td><td>1.57</td></tr> </tbody> </table>				質問	質問内容	H30	R1	R2	1	学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いにこたえている	1.30	1.51	1.87	2	生徒による自発的行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている	1.11	1.23	1.38	3	この学校では、生徒指導において、家庭との連携ができています	1.28	1.43	1.76	4	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている	1.23	1.11	1.52	5	ホームルーム活動を通して学校経営の発展に、学年や学年、学校全体で取り組んでいる	0.67	1.00	0.76	6	学校行事が生徒にとって魅力のあるものとなるよう、工夫・改善を行っている	0.76	1.26	1.57	7	担任や先生以外の先生も授業や研修などで、積極的に参加している	1.22	1.23	1.48	8	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている	0.15	0.86	1.10	9	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている	0.76	1.00	1.29	10	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている	0.76	1.00	1.62	11	教育相談体制が整備されており、生徒は適切な指導を受けられることができる	1.11	1.17	0.86	12	教育活動に必要な情報について、生徒や保護者への周知に努めている	1.20	1.34	1.62	13	学校行事や授業の改善について、委員会などの活動を通して生徒の意見を取り入れることができる	1.11	0.86	1.19	14	いじめ防止の観点から、適切な体制が整っており、迅速に対応することができる	0.41	1.34	1.57	<p>◎第2回学校運営協議会【令和2年10月21日】</p> <p>【委員からの意見等】</p> <p>○子供達の主体性を育てていただいているところが素晴らしい。学年の取組みなど、本当に丁寧に生徒に関わっているのが見えてくる。自己肯定感を高めていくことはとても大事である。コロナ禍での孤立が顕著になってきている中、しっかりと生徒のいいところを見ていく取組みは、自己肯定感を高めるのに非常に有効であると感じている。</p> <p>○ICT教育も当然必要ではあるが、それだけではなく、実際に体験して、見て学ぶことも必要である。何かそういう取組みもお願いしたい。</p> <p>○コロナ禍において、学校行事だけではなく地域の行事もなくなっている。長野北は学校行事をできるだけ行っていくと聞いているので、心に訴えかけるような指導をしていただきたい。</p> <p>○PTAの活動もなかなか集まらずにいるが、これからは学校行事でお手伝いができることがあれば是非していきたいと考えている。</p> <p>○地域では、コミュニティソーシャルワーカーが高齢者をはじめ、若い人たちの孤立の解消に向けて様々な取組みを行っている。子供達も孤立しないようにあたたかく見守ってあげてほしい。</p> <p>○卒業後のキャリアに向けた教育、進路指導や生徒指導という観点から、地域や外部人材を活用していければいいと思う。</p>								
質問	質問内容	H30	R1	R2																																																																																			
1	学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いにこたえている	1.30	1.51	1.87																																																																																			
2	生徒による自発的行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている	1.11	1.23	1.38																																																																																			
3	この学校では、生徒指導において、家庭との連携ができています	1.28	1.43	1.76																																																																																			
4	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている	1.23	1.11	1.52																																																																																			
5	ホームルーム活動を通して学校経営の発展に、学年や学年、学校全体で取り組んでいる	0.67	1.00	0.76																																																																																			
6	学校行事が生徒にとって魅力のあるものとなるよう、工夫・改善を行っている	0.76	1.26	1.57																																																																																			
7	担任や先生以外の先生も授業や研修などで、積極的に参加している	1.22	1.23	1.48																																																																																			
8	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている	0.15	0.86	1.10																																																																																			
9	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている	0.76	1.00	1.29																																																																																			
10	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている	0.76	1.00	1.62																																																																																			
11	教育相談体制が整備されており、生徒は適切な指導を受けられることができる	1.11	1.17	0.86																																																																																			
12	教育活動に必要な情報について、生徒や保護者への周知に努めている	1.20	1.34	1.62																																																																																			
13	学校行事や授業の改善について、委員会などの活動を通して生徒の意見を取り入れることができる	1.11	0.86	1.19																																																																																			
14	いじめ防止の観点から、適切な体制が整っており、迅速に対応することができる	0.41	1.34	1.57																																																																																			
(3)生徒(全体)				◎第3回学校運営協議会【令和3年2月17日】																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>質問</th> <th>質問内容</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>学校へ行くのが楽しい</td><td>0.51</td><td>0.75</td><td>0.88</td></tr> <tr><td>2</td><td>学校行事は、みんなが楽しく行けるよう工夫されている</td><td>0.35</td><td>0.50</td><td>0.81</td></tr> <tr><td>3</td><td>先生たちは生徒の意見をよく聞いてくれる</td><td>0.51</td><td>0.78</td><td>1.18</td></tr> <tr><td>4</td><td>授業はわかりやすく楽しい</td><td>0.01</td><td>0.45</td><td>0.94</td></tr> <tr><td>5</td><td>授業では、実験や実習をしたり、発表の機会がたくさんある</td><td>0.23</td><td>0.57</td><td>1.13</td></tr> <tr><td>6</td><td>担任の先生以外にも保護者や地域の方々も、積極的に参加することができる</td><td>0.42</td><td>0.42</td><td>0.77</td></tr> <tr><td>7</td><td>清掃がいきとどいており、校内はきれいに保たれている</td><td>-0.35</td><td>0.08</td><td>0.58</td></tr> <tr><td>8</td><td>ホームルーム活動は活発で、クラス全体で積極的に参加している</td><td>0.05</td><td>0.44</td><td>0.81</td></tr> <tr><td>9</td><td>進路の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある</td><td>0.04</td><td>0.38</td><td>0.88</td></tr> <tr><td>10</td><td>担任や先生以外の先生も授業や研修などで、積極的に参加している</td><td>0.54</td><td>0.86</td><td>1.03</td></tr> <tr><td>11</td><td>教職員にさまざまな工夫をしている先生が多い</td><td>0.81</td><td>0.96</td><td>1.38</td></tr> <tr><td>12</td><td>プロジェクトやコンピュータを活用した授業が行われている</td><td>0.70</td><td>1.32</td><td>1.53</td></tr> <tr><td>13</td><td>将来の進路や生き方について考える機会がある</td><td>0.57</td><td>1.05</td><td>1.35</td></tr> <tr><td>14</td><td>地元産品を通して郷土のことが詳しく学ぶことができる</td><td>0.14</td><td>0.81</td><td>1.08</td></tr> <tr><td>15</td><td>生徒は「学校へ行くのが楽しい」と言っている。それがあれば授業が受けられる</td><td>0.09</td><td>0.88</td><td>1.19</td></tr> </tbody> </table>				質問	質問内容	H30	R1	R2	1	学校へ行くのが楽しい	0.51	0.75	0.88	2	学校行事は、みんなが楽しく行けるよう工夫されている	0.35	0.50	0.81	3	先生たちは生徒の意見をよく聞いてくれる	0.51	0.78	1.18	4	授業はわかりやすく楽しい	0.01	0.45	0.94	5	授業では、実験や実習をしたり、発表の機会がたくさんある	0.23	0.57	1.13	6	担任の先生以外にも保護者や地域の方々も、積極的に参加することができる	0.42	0.42	0.77	7	清掃がいきとどいており、校内はきれいに保たれている	-0.35	0.08	0.58	8	ホームルーム活動は活発で、クラス全体で積極的に参加している	0.05	0.44	0.81	9	進路の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある	0.04	0.38	0.88	10	担任や先生以外の先生も授業や研修などで、積極的に参加している	0.54	0.86	1.03	11	教職員にさまざまな工夫をしている先生が多い	0.81	0.96	1.38	12	プロジェクトやコンピュータを活用した授業が行われている	0.70	1.32	1.53	13	将来の進路や生き方について考える機会がある	0.57	1.05	1.35	14	地元産品を通して郷土のことが詳しく学ぶことができる	0.14	0.81	1.08	15	生徒は「学校へ行くのが楽しい」と言っている。それがあれば授業が受けられる	0.09	0.88	1.19	<p>◎第3回学校運営協議会【令和3年2月17日】</p> <p>【委員からの意見等】</p> <p>※新型コロナウイルス感染予防のため、郵送により意見等を聴取することで、会議の開催に代えた。</p> <p>○学校教育自己診断の結果と分析で、「保護者、教職員、生徒のすべての集団において、2年前より数値が飛躍的に向上し、特に生徒のすべての項目において向上している。」「肯定的な意見が全体の約7割を超える項目がほとんどであり、9割を超える項目もある。」のは、見事な結果だと感動した。</p> <p>○実際に、授業参観を通して感じた先生方と生徒の距離の近さや、自由記述欄に書かれたコメントなどを拝見して、教職員が一丸となった最終学年にかけの思いや、丁寧な教育活動が見事に結果し、三者からも満足していただける結果になったと思われる。</p> <p>○ICT機器の活用等、先生方の学力向上に向けた様々な取組みの成果が功を奏し、授業アンケートの項目についても高い満足度を表していることは、高く評価ができる。</p> <p>○コロナ禍の中、学校経営計画に盛り込まれた目標を着実に実行し、結果を残されていることに感心している。これも、生徒・保護者・教職員が一丸となって、最後の一年を充実したものとするために、一所懸命に取り組んでこられた結果だと思う。</p> <p>○特に、教育課程の進捗が非常に気になる状況の中、ICTの活用や実験実習の実施などに取組み、それらを教員の授業公開や相互参観で学び合う機会をつくられるなど、先生方のご努力に頭が下がる思いである。</p> <p>○「地域に根ざす長野北高等学校」として長期に渡り生徒指導ありがとうございます。社会に貢献できる人材教育への教職員皆様のご尽力が生徒の皆様にも必ず伝わると思います。</p> <p>○1学年だけで生徒が少なく、校内が寂しい感じを受ける。しかし、残りの学校生活を、教職員が一丸となって生徒のためにと努力しておられ、とても嬉しく感じた。</p> <p>○長北ポイント、ほめて伸ばす、授業の工夫など、すべては生徒とこれからの未来のために行動いただいたことに感謝します。</p> <p>○入試説明会の時に最後の生徒まで対応は変わらず設備も新しくなるものもある、卒業まで全力を尽くすと仰っていただきました。今回の取組み内容と学校評価の結果は、入試説明会でのお言葉を実行していただいたのだと思いました。ありがとうございました。</p>			
質問	質問内容	H30	R1	R2																																																																																			
1	学校へ行くのが楽しい	0.51	0.75	0.88																																																																																			
2	学校行事は、みんなが楽しく行けるよう工夫されている	0.35	0.50	0.81																																																																																			
3	先生たちは生徒の意見をよく聞いてくれる	0.51	0.78	1.18																																																																																			
4	授業はわかりやすく楽しい	0.01	0.45	0.94																																																																																			
5	授業では、実験や実習をしたり、発表の機会がたくさんある	0.23	0.57	1.13																																																																																			
6	担任の先生以外にも保護者や地域の方々も、積極的に参加することができる	0.42	0.42	0.77																																																																																			
7	清掃がいきとどいており、校内はきれいに保たれている	-0.35	0.08	0.58																																																																																			
8	ホームルーム活動は活発で、クラス全体で積極的に参加している	0.05	0.44	0.81																																																																																			
9	進路の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある	0.04	0.38	0.88																																																																																			
10	担任や先生以外の先生も授業や研修などで、積極的に参加している	0.54	0.86	1.03																																																																																			
11	教職員にさまざまな工夫をしている先生が多い	0.81	0.96	1.38																																																																																			
12	プロジェクトやコンピュータを活用した授業が行われている	0.70	1.32	1.53																																																																																			
13	将来の進路や生き方について考える機会がある	0.57	1.05	1.35																																																																																			
14	地元産品を通して郷土のことが詳しく学ぶことができる	0.14	0.81	1.08																																																																																			
15	生徒は「学校へ行くのが楽しい」と言っている。それがあれば授業が受けられる	0.09	0.88	1.19																																																																																			
<p>●保護者の結果について</p> <p>学年団を中心として、生徒指導部と協力をしながら、指導を重ねてきた。その結果、「学校の生徒指導方針に共感できる」が入学当初と比べて飛躍的に向上している。また「学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」という項目においても、希望の進路実現に向けての取組みが評価された数値となった。学力向上PTが計画してきた授業改善に向けての取組みが全教員に浸透し、各教員がICT機器を有効活用するなど、工夫を凝らした授業を展開することができた。その結果、「子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている」という項目が入学当初はマイナスの数値であったのが、大きく改善された。</p>																																																																																							
<p>●教職員の結果について</p> <p>本年度は最終学年の第3学年しか在籍しておらず、しかもコロナ禍という状況での教育活動となった。特別教育活動部と生徒会が中心となり、生徒たちが有意義に学校生活を送れるよう行事などの検討を重ね、実施した。結果、「学校行事が生徒にとって魅力のあるものとなるよう、工夫・改善が行われている」という項目の数値が45期生入学当初と比べて大幅に上昇した。また、「教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている」という数値の急上昇を見てもわかるように、教職員の関係はいたって良好であり、「いじめ対応」等にも迅速に対応ができています。教職員研修については外部から講師を招いたり、教員が講師になったりと、現在の教育課題やICT教育等のニーズにあった研修が行われている。</p>																																																																																							
<p>●生徒の結果について</p> <p>すべての項目で数値が上昇している。教職員が一丸となり、生徒にしっかりと向き合いながら、丁寧に教育活動を行ってきた結果と言える。特に「先生たちは生徒の意見をよく聞いてくれる」「授業はわかりやすく楽しい」「授業では、実験や実習をしたり、発表の機会がたくさんある」という授業関連の項目や、「清掃がいきとどいており、校内はきれいに保たれている」等の校内環境についての項目が飛躍的に上昇している。</p> <p>また、「将来の進路や生き方について考える機会がある」という項目が上昇していることは、第3学年しかいない本校において、進路指導部が中心となって立案し、主に担任が実施した進路HRなどが効果的であったことを示している。</p> <p>教職員の頑張りや、生徒たちのニーズがマッチしており、生徒は有意義な学校生活を送れていると見ることができる。</p>																																																																																							
<p>●全体的な分析</p> <p>保護者、生徒、教職員のすべての集団において2年前よりも数値が飛躍的に向上している。特に生徒の数値はすべての項目で向上している。肯定的な意見が全体の約7割を超える項目がほとんどであり、9割を超える項目もある。この結果は、有意義な学校生活を送って行くために生徒と教職員の信頼関係を構築し、お互いに努力を継続してきた成果である。</p>																																																																																							

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 自 己 肯 定 感 を 高 め る	<p>(1) 授業改善を積極的に行う。</p> <p>(2) 生徒の規範意識を高める。</p>	<p>ア 授業規律を確立することにより、授業に集中できる環境を作る。</p> <p>イ 授業公開月間を年間2回設定し、教員相互に授業を観察する。また、研究授業や研修を増やし、他の教員の授業見学が日常となる習慣作りを行う。</p> <p>ウ プロジェクター、タブレット端末やアプリを活用して生徒が主体的に取り組む授業を行う。</p> <p>エ 実験・実習を授業中に多く取り入れ、その成果などを発表する機会を設ける。</p> <p>オ 基礎力診断テストなどを活用し、生徒の実力を定点観測し、生徒の学力向上と授業改善に役立てる。</p> <p>ア 通学時の安全確保やマナー向上のため、校内外で登校指導および下校指導を行う。</p> <p>イ 頭髪、遅刻指導を通じて、生徒の規範意識を高める指導を行い、ルールやマナーの大切さを自ら考えさせる。</p> <p>ウ 校内での清掃活動について改善策を作成し、定期的に美化週間を設けるなど、校内美化に努める。</p> <p>エ 身だしなみについての講習を行う。</p>	<p>ア 授業アンケートにおける「授業中は集中して先生の話を聞き学習に取り組んでいる」の項目の満足度を引き続き 90%以上にする。(R 1 90%)</p> <p>イ 教員相互の授業見学を各自年2回以上。研究授業、研修を1・2学期に複数回行う。</p> <p>ウ 学校教育自己診断における「DVDなどの視聴覚機器やコンピュータを活用した授業が行われている」を90%以上にする。(R 1 91%)</p> <p>エ 学校教育自己診断における「実験・実習の機会がある」を70%以上にする。(R 1 70%)</p> <p>オ 基礎力診断テストの分析を、生徒に周知する。また、ランクを1段階上げる。「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている。」を85%以上にする。(R 1 85%)</p> <p>ア 通学状況について学校運営協議会の地域代表者等から評価していただく。</p> <p>イ 遅刻者数減少の努力を継続し、延べ 3500 名以下にする。(R 1 6326 名)</p> <p>ウ 学校教育自己診断における「掃除がいきとどいており、校内はきれいに保たれている」を60%以上にする。(R 1 54%)</p> <p>エ 「身だしなみ」講習の実施</p>	<p>ア 授業アンケートの「授業中は集中して先生の話を聞き学習に取り組んでいる」の項目についての満足度は1学期 96%、2学期 92%と昨年度よりさらに上昇した。ICT機器の活用等、各教員の学力向上に向けた様々な取組みの成果と考えている。(◎)</p> <p>イ コロナによる休校があり、授業公開月間の設定は1回(9月)となった。その期間内に全教員が3回授業を公開し、70%の教員が他の教員の授業を見学した。公開月間以外でも、自主的な授業見学が行われている。(○)</p> <p>ウ 学校教育自己診断における「プロジェクターやコンピュータを活用した授業が行われている」の結果は94%であった。教員によるタブレット端末の使用が浸透してきた結果であると考えている。(◎)</p> <p>エ 学校教育自己診断における「実験・実習の機会がある」86%と目標を大幅に上回った。(◎)</p> <p>オ 新型コロナウイルス感染症拡大による休校のため、例年4月に行っていた基礎学力診断テストを実施できなかった。「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている。」の回答は89%であった。(◎)</p> <p>ア 近隣住宅の駐輪場への無断駐輪、ペットボトルのポイ捨てなど、地域住民の方々に迷惑をかけることがあった。しかし、困っている年寄りや子供たちに声をかけて助けていただいたことも多々あった。(△)</p> <p>イ 遅刻者数は 2,509 件と生徒数の減少を考慮しても改善されている。(◎)</p> <p>ウ 学校教育自己診断において「掃除がいきとどいており、校内はきれいに保たれている」は67%と上昇した。(◎)</p> <p>エ 「スーツ着こなし講座」を地元企業の協力を得て実施した。(○)</p>

府立長野北高等学校

2 進路 希望 の 実 現	<p>(1) 生徒の進路希望等に応じたカリキュラムマネジメント</p> <p>(2) 進路指導計画を整理・拡充し計画的な進路指導を実現する。</p>	<p>ア コース制による選択科目を実施し、生徒の進路希望に沿った授業内容を行う。</p> <p>イ 薬物乱用防止や情報リテラシーの獲得を行う。</p> <p>ウ 生徒の適性に応じた進路選択ができるよう、SCやSSWとの連携を深め、「チーム学校」としてきめ細かな進路指導を行う。</p> <p>ア 基礎学力の充実を行い、作文指導や面接指導を充実させ、進路決定率の上昇を図る。</p> <p>イ 漢字検定、英語検定などの検定受検者数を増やし、資格所持者を増やす。</p>	<p>ア 授業アンケートにおける「授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている。」の項目を85%以上にする。(R1第1回85%、第2回85%)</p> <p>イ 適宜、集会等で周知を行う。</p> <p>ウ 学校教育自己診断における教職員の「生徒一人一人が興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている」の項目90%以上にする。</p> <p>ア 進路未決定者の減少、就職内定率100%にする。(R1 92.7%)</p> <p>イ 漢検・英検の合格者15名をめざす。</p>	<p>ア 授業アンケートにおける「授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている。」の項目は1学期88%2学期88%と上昇した。(◎)</p> <p>イ 薬物乱用防止についてはコロナ対応のため、時間を取ることが出来なかった。情報リテラシーの獲得は情報科の授業で進めている。(一)</p> <p>ウ 学校教育自己診断における教職員の「生徒一人一人が興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている」の項目の肯定的回答は95%であった。(◎)</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい就職環境の中、進路未決定者8名、決定率94%、就職内定率(95.3%)と昨年を上回った。(△)</p> <p>イ コロナによる休校のため、漢検・英検は実施しなかった。(一)</p>
------------------------------	--	---	---	--

府立長野北高等学校

<p>3 安 全 で 安 心 な 魅 力 あ る 学 校</p>	<p>(1) 地域貢献を行うことによる、社会の一員としての意識を高める</p> <p>(2) 保護者との連携による信頼関係の構築</p> <p>(3) 学校情報の発信を強化することで、学校への信頼を高める。</p>	<p>ア 地元探訪を行い、継続的に地域を知る学習を行うことにより、帰属意識を養う。</p> <p>イ 青少年健全育成会の行事に参加し、小・中学校との連携を図る。地域と連携したボランティア活動（クリーンキャンペーン、あいさつ運動年間3回）を実施する。</p> <p>ウ 千代田公民館との連携による科学実験教室（楽習室）などを実施する。</p> <p>ア 保護者との連携を密にし、将来への目標を持つことにより、基本的な生活習慣を確立する。</p> <p>イ 就学支援委員会を中心に、合理的配慮への理解を進め、個別の教育支援計画の作成や適切な評価がなされるように、教育環境を整える。</p> <p>ウ SSWの活用を含め、教育相談体制を充実させ、個々の生徒及び家庭環境に対して、寄り添った指導を心がける。</p> <p>エ 地域の中学校との連携を密にし、生徒の生活環境を理解することにより、将来にわたって社会で生き抜く力を養う。</p> <p>ア 人権研修の実施や人権ニュースを定期的に発行し、人権意識を醸成する。</p> <p>イ 教育支援クラウドサービスにより、保護者への発信を増やすことで、詳細な情報提供を行う。</p> <p>ウ 楽習室の充実をはかり、開かれた学校づくりに努める。</p>	<p>ア 地元探訪について事前および事後学習を実施。アンケートによる肯定的意見を80%以上にする。(R1 77%)</p> <p>イ 千代田駅前でのあいさつ運動参加者数を30名以上にする。(R1 72名) また、登校時の「あいさつ週間」を設ける。 クリーンキャンペーン参加者数を25名以上にする。(R1 45名)</p> <p>ウ 千代田バラエティフェスタへの参加を20名以上にする。科学実験教室（楽習室）の参加者（小学生）を40名、生徒のアシスタントとしての参加数5名以上にする。</p> <p>ア 学校教育自己診断における「学校に行くのが楽しい」の項目を75%に引き上げる。(R1 73%) また、中途退学者数0をめざす。</p> <p>イ 就学支援委員会を週に1回実施する。ケース会議を適宜実施する。</p> <p>ウ SSWの活用。教育相談件数を延べ50件以上にする。(R1 108件)</p> <p>エ 適宜、地域の中学校との連携を行い、情報交換を行う。</p> <p>ア 人権ニュースを年5回発行する。学校教育自己診断において「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」を70%以上にする。(R1 70%)</p> <p>イ 学校教育自己診断における「学校からの教育情報提供」80%をめざす。(R1 74%)</p> <p>ウ 楽習室を実施する。アシスタントとして参加する生徒を増やし、地域とのつながりを実感させる。</p>	<p>ア アンケートによる肯定的意見は81%と高いものとなった。(○)</p> <p>イ 新型コロナウイルス感染症拡大のため、千代田駅前でのあいさつ運動は実施されなかった。校内では、登校時の「あいさつ週間」を実施した。 クリーンキャンペーン参加者数は32名と、生徒数が減少している中、目標を上回った。(◎)</p> <p>ウ 新型コロナウイルス感染症拡大のため、科学実験教室（楽習室）は実施できなかった。(－)</p> <p>ア 学校教育自己診断の「学校に行くのが楽しい」の項目は77%と上昇した。 中途退学者は1人(△)</p> <p>イ 就学支援委員会は予定通りに実施した。(25回) 個別の支援計画も順調に作成し、よく活用することができた。(○)</p> <p>ウ SSWの相談件数は45件、SCは16件、合計61件であった。(◎)</p> <p>エ 河内長野中高連絡協議会（年5回）及び富田林中高連絡協議会（年5回）に参加し、情報交換に努めている。(○)</p> <p>ア 学級診断尺度調査を1回実施した。 人権ニュースを3回発行した。 学校教育自己診断において「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」は84%と大幅に上昇した。(◎)</p> <p>イ 学校教育自己診断の「学校からの教育情報提供」76%と微増したが目標には達しなかった。(△)</p> <p>ウ 新型コロナウイルス感染症拡大のため、楽習室は実施できなかった。(－)</p>
--	---	---	---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4 学校運営体制の効率化と危機管理能力の向上</p>	<p>(1) 学校運営体制の効率化をめざす</p> <p>(2) 組織目標の明確化と課題解決に向けての取り組み</p> <p>(3) 危機管理体制の充実と防災教育の再構築</p>	<p>ア 教員減をチャンスと捉え、全教員で課題の共有を行い、解決に向かう。</p> <p>イ 教育支援クラウドサービスの活用を進めるなどにより、情報共有を迅速に行い、効率化を進める。</p> <p>ウ 情報処理委員会の機能をより充実させる。ICT 機器の活用により、生徒情報の集約と共有を行い、情報および機器の運用を効率的に行う。</p> <p>ア 現状分析と目標設定を基本とした、課題の明確化と具体的な対応策の構築を行う意識の浸透を図る。</p> <p>イ 個人の特性を理解し、各専門分野での役割を明確にし、組織力の向上をめざす。学校の目標や課題を明確にして共有することで、組織力の向上をめざす。</p> <p>ウ 経験年数の少ない教員に対して、積極的に発表や情報交換の機会を作り、意見交換することにより、次代のリーダーとなる資質を育成する。</p> <p>エ 多様な生徒の指導に対応するため、他校種(小・中・支援学校)との交流を推進し、教員を育成する。</p> <p>オ 閉校準備委員会において、生徒達の満足度を高める企画等を、協議、調整する。</p> <p>ア いじめ等の未然防止、早期発見、対策について情報を共有し、機能しているか体制を常に点検する。</p> <p>イ 個人情報管理をはじめ、多様なインシデントに関して共有し、個々の危機管理能力を高めるとともに組織としての重大事故を未然に防止する。</p>	<p>ア 分掌間の連携を密にし、全員体制での運営を基本とする。</p> <p>イ ペーパーレス化を進めるなど、業務の効率化を図る。</p> <p>ウ ICT 機器の活用等により教員の時間外勤務のさらなる削減をめざす。(R1 14時間 31分)</p> <p>ア エビデンスベースで、様々な課題に対して分析と解決策の策定を行う。「校内研修は、教育実践に役立つ内容となっている。」85%以上にする。(R1 85%)</p> <p>イ 目標設定および開示面談の他、日常の会話の機会を増やすことでの意見・情報交換を行う。</p> <p>ウ 教科での指導の他、研修や PT への参加など意見表明の場を設定する。</p> <p>エ 他校見学の機会を複数回設定し、教員が主体的、積極的に参加できる状況を常態化する。</p> <p>オ 基金の効果的な活用を行い、今年度末の閉校を見据えた学校経営を行う。</p> <p>ア 学級診断尺度調査、SSWの活用により「いじめが起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。」を 95%以上にする。(R1 95%)</p> <p>イ 「学校で震災や火災などの災害が起こった場合、どのような行動をとればよいか常に意識している。」90%以上にする。(R1 83%)</p>	<p>ア 教員数が減少する中、「一体感」のスローガンもと全員体制での運営ができています。ストレスチェックの同僚のサポートの値も 8.9 から 9.5 に上昇した。(◎)</p> <p>イ 職員会議に続き、運営委員会や有効と思われるすべての会議をペーパーレス化するとともに、教育支援クラウドサービスでの情報共有を日常化し、業務の効率化を進めた。(◎)</p> <p>ウ 時間外勤務は7時間 57分(2月末まで)と大幅に減少した。(◎)</p> <p>ア 課題の明確化により、教員のニーズに副った研修等を実施し「校内研修は、教育実践に役立つ内容となっている。」が 95%と増加した。(◎)</p> <p>イ 校長室での面談等はもちろん、職員室での通常の会話の中での情報共有や相談の機会が大幅に増加したことで、より教員の特性を生かした適切な役割分担を行えた。同時に学校経営への理解や協力が進み、チームとして動くことが出来た。(◎)</p> <p>ウ 必ずしも研修という形はとらないが、経験年数の少ない教員が中心となって自主的に授業の相互見学や ICT 活用の勉強会などが行われている。(◎)</p> <p>エ 他校種との交流はコロナ対応のため取りやめたが、札幌市の市立校1校、私立校2校に4人、滋賀県の私立校に6人、大阪市の私立校に7人教員が視察に赴き、自主的に合同研修報告会を企画、成果を全教員で共有できた。(◎)</p> <p>オ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況に留意しつつ、計画通り閉校記念誌の作成や閉校記念イベント準備を進めている。(○)</p> <p>ア 「いじめが起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。」は 96%と教員の意識は高い。(○)</p> <p>イ 「学校で震災や火災などの災害が起こった場合、どのような行動をとればよいか常に意識している。」は 86%と昨年度より向上しているものの目標には達していない。(△)</p>
---	---	---	--	---